

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念、運用方針を示し、全体会議時に丁寧に説明している。 ・経営理念の唱和を毎朝行っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンス部会で法令遵守事項を把握し、年2回管理体制を点検するなど、遵守する態勢を構築している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・全社体制で公正な取引に努め、相見積を取得するなど適正な取引を行っているかどうかチェックしている。 ・ケアマネジャーの仕事が偏らないよう確認している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各委員会を設置し、事業活動が社会や環境に対する影響を把握し改善する活動を定期的に行っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・【予定】自社及び他社の知的財産を保護するため、2023年3月までに会社のロゴマークなどの商標登録を行う。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・社員研修(新入社員研修、役職者研修)等を通じて、情報漏洩の防止に努めている。 ・入居の時、利用者の方やご家族の個人情報同意書、SNSに関する同意書を受け入れ漏洩しないよう管理している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的な面談等で双方のコミュニケーションを取っている。 ・苦情受付窓口を明示している。 ・定期的に運営推進会議にて区長、役場担当者、元家族や地域の担当医と当社で意見交換会を実施している。 ・担当者会議にて関連事業者と情報交換、モニタリングを実施している。															16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・定期的に情報交換を実施し、業務に関係ない贈答品などのやり取りをしないよう努めている。 ・取引先の地域活動への協力、東日本大震災以降災害時に職員の派遣や物資支援を行うなど積極的に実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・熊本地震を踏まえBCPを策定し、緊急時用の備蓄品を準備している。 ・緊急時対応訓練や、緊急時の初動訓練を定期的に実施している。 ・利用者の緊急連絡先一覧を作成している。 ・【予定】2023年3月までに、コロナ用のBCPを策定する。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・事業承継計画を立て、組織強化と後継者を支える人材育成に取り組んでいる。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内での差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・外国人の採用を積極的に行うなどダイバーシティを意識した態勢を整備している。人権研修を定期的に行い、人権や差別に関する教育を実施している。 ・ハラスメントに関する窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・ヒヤリハット事故対策委員会や防災衛生委員会を定期開催し、発生した事例をもとに課題や取組に対する情報を共有している。 ・有識者による研修などにより、社内の意識醸成を行うことで、安全な労働環境づくりに努めている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金のガイドラインに基づき、正規・非正規による差別がないことを確認し、ガイドラインに沿った体制の運営を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・デジタル化等により業務効率化を行い、残業時間の削減に努めている。 ・育児や子育て、介護による就業時間の柔軟な調整や休暇を認めている。 ・リフレッシュ休暇を100%取得している。また育児・子育て両立支援行動計画を策定し、男性の育児休暇についても実績がある。 ・新型コロナウイルスにより、コロナ休暇を新設し臨機応変に対応している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修委員会を設置し、社員教育計画を立てて従業員の能力開発や資格取得に取り組んでいる。 ・特に外国人への研修、無資格者への研修に注力している。 ・資格者リストを作成し、公平に教育の機会を提供している。 ・認知症サポート養成講座を定期的に開催し、認知症への理解を啓発している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会を設置し、社員の健康診断受診の管理を徹底し、健康診断後のフォローを実施している。 ・ヨガやラジオ体操を奨励しており、従業員向けに健康イベントを実施している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・高齢者が活躍できる業務を設けて、積極的に再雇用している。 ・施設の出入口に車イス用のスロープを設けている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・業務効率化やウェブ会議開催のためにPC機器を導入し、新しい働き方を導入している。 ・看護部会を設置し、感染症に関する、最新情報を全従業員に提供している。 ・新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン面談を実施している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・電子カルテを活用し、業務の効率化に取り組んでいる。 ・PC・iPad等のタブレット端末を活用し、記録業務を電子化し効率化を図っている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物、医療廃棄物については専門業者等を通じて適切な処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気使用量削減や太陽光発電、LED照明、高効率な空調機器の導入に取り組んでいる。 ・【予定】2023年3月までに、簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を把握し、削減に努める。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・電気使用量削減や太陽光発電、LED照明、高効率な空調機器の導入に取り組んでいる。 ・送迎車両の運行で長時間の待機時はアイドリングストップに努めている。 ・【予定】2023年3月までにCO2排出量を把握し、目標設定や振り返りを行う。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・プラスチック製品利用の低減や汚水の浄化処理を徹底し、環境への悪影響を抑制している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・洗って使用できる弁当の容器を利用しプラスチック製品の利用の低減や汚水の浄化処理を徹底し、環境に悪影響を及ぼさないようにしている。 ・自社農場、養鶏場において積極的に循環農業を行っており、規格外商品を有効活用する体制を構築している。 ・製品の包材についても極力リユースできる資材を採用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水道蛇口に節水器具や節水啓発シールを貼付し、節水の意識付けを行っている		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・エコ商品の購入を行い、環境に配慮した取り組みを行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・自社農場、養鶏場において積極的に循環農業を行っており、規格外商品を有効活用する体制を構築している。 ・【予定】2023年3月までに規格外の野菜を活用し加工所で6次産業化を実施。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・施設内の畑にて農園(野菜、ホップ等)を運営、耕作放棄地の活用にも取組む事により景観の保全管理に取り組んでいる。 ・会社敷地に植樹、花壇、植栽などを行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・施設についてはLED照明で節電に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・洗って使用できる弁当の容器を利用しプラスチック製品の利用の低減により、環境に悪影響を及ぼさないようにしている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・安全衛生委員会で施設の安全性など定期的にチェックし、安全性の管理をしている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・車いすが通れるバリアフリー設計であり、誰もが利用しやすい環境を整えている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・福祉施設内での食事や配食サービスの食材の一部を自社内で生産し地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・施設建設にあたっては積極的に県産材を使用し、木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・放課後デイサービスや運動教室の開催を行い社会課題解決に努めている。 ・【予定】2023年3月までにおがくずと使用済みの蠟燭から着火剤を加工する。 ・【予定】2023年3月までに子ども食堂を運営する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	完全無農薬、有機栽培、循環型農業を標榜し、50種類を超える野菜の栽培に取り組んでいる。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域活動委員会を中心に、村民と交流するイベントを実施するなど地域貢献活動を行っている。 ・南阿蘇村のボランティア委員会に加入し地域貢献のため募金活動を積極的に行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・周辺のハザードマップを掲示し、全員に周知している。 ・緊急事態想定訓練、消火器マップの作成掲示、緊急時用備蓄品の整備を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・地域防災の担い手として防災士の有資格者が在籍している。 ・地域の消防団に加入している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGs普及啓発のために社員教育を実施しており、本業を通じてSDGsの達成に貢献するため、推進体制の構築に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生の実習生を積極的に受け入れている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・高校生の実習生を積極的に受け入れることにより雇用に繋がっている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・保育園児、障がい者や高齢者とサツマイモの収穫を通じて食育活動を実施している。 ・保育園児にニワトリの生態系について講習を実施している。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17